



第四章 資 料



アンケート用紙

令和8年3月10日

第36回東京都平和の日記念行事アンケート

本日の東京都平和の日記念行事について、アンケートにご協力ください。

■ 3月10日が東京都平和の日であることについて

- a. 以前から知っていた b. 今回の式典を通じて初めて知った c. 知らなかった

■ 記念行事への参加回数について

- a. 初めて b. 2～10回 c. 11～20回 d. 21回以上

■ 本日の記念行事について

1 「記念式典」についてご感想をお聞かせください。

- a. 大変良かった b. 良かった c. 普通 d. 悪い

(ご意見: _____)

2 第二部「記念演奏」についてご感想をお聞かせください。

- a. 大変良かった b. 良かった c. 普通 d. 悪い

(ご意見: _____)

3 今後の「東京都平和の日記念行事」についてお聞かせください。

- a. 「記念式典」のみでよい(その理由: _____)
b. 「記念式典」と「記念演奏」を行う(その理由: _____)
c. その他(_____)

4 この行事を何でお知りになりましたか。

※複数回答可。dは()内の該当のものを囲ってください。

- a. 広報東京都 b. 東京都ホームページ c. 新聞広告(_____ 新聞)
d. SNS (東京動画(YouTube)・X・LINE・Instagram) e. 知人から聞いて
f. 東京空襲資料展の会場 g. その他(_____)

■ 「東京都平和の日」をより多くの方に知っていただき、平和の意義や大切さを考えるきっかけになるよう、平和の日PR動画による広報を行っております。以下の媒体にて、PR動画をご覧になったことはありますか? ※複数回答可

- a. Youtube 広告 b. Instagram 広告 c. 都営交通社内広告(チカッ都ビジョン)
d. 都庁舎及び都庁周辺のデジタルサイネージ等 e. その他(_____)

■ その他、ご意見ご感想をお聞かせください。

お歳: _____ 代

お住まい: _____ 区・市・町・村

ご協力ありがとうございました。

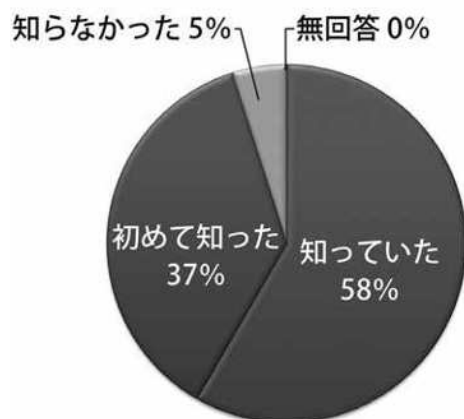
東京都

アンケート集計結果

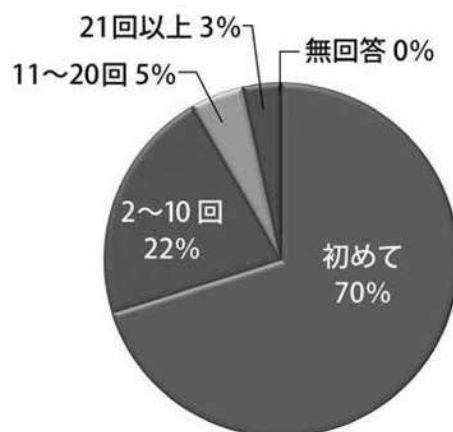


回答数：144

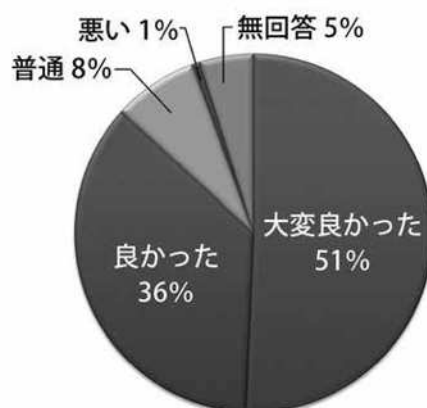
3月10日が東京都平和の日である事について



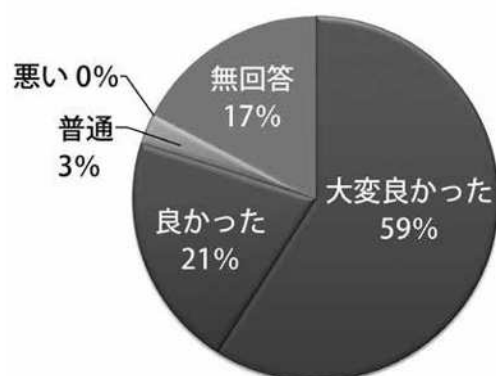
記念行事への参加回数について



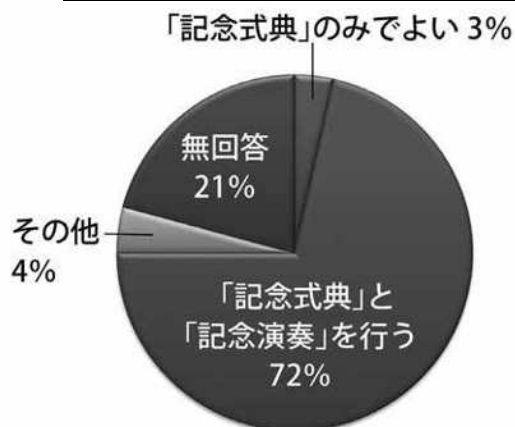
第一部「記念式典」について



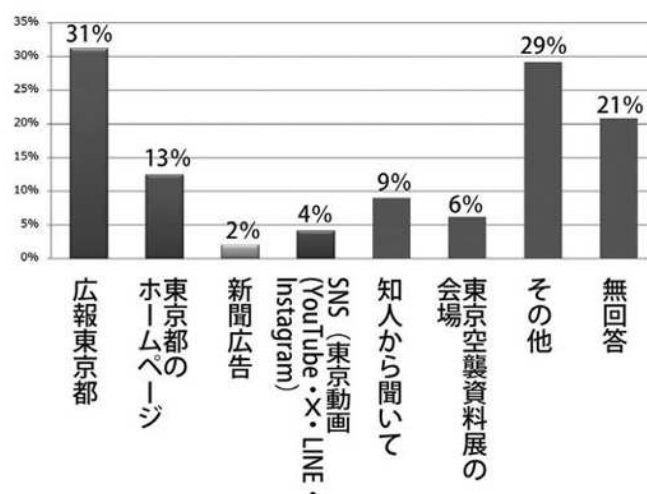
第二部「記念演奏」について



今後の「東京都平和の日記念行事」について



この行事を何で知りましたか

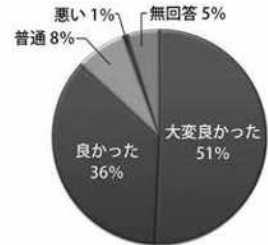


アンケート集計結果（自由意見）

自由意見

1. 第一部「記念式典」についてご感想をお聞かせください

- ◆ 市民代表の方のお話涙が出ました(母と同じ年の方でした)母は戦争の話は決してしてませんでした。母にもつらい思い出かと思えます。
- ◆ 被災者の挨拶が心に残った
- ◆ 来賓の方々のご挨拶は良かった。後は事務的に感じました。
- ◆ 戦災経験の方の話が非常に印象深かった
- ◆ それぞれのお立場からお話し聞かせてもらって良かった
- ◆ 特に被災者代表の小町悦子さんの話をきけたことはとても良かった
- ◆ 被災者代表の小町さんのお話に感動しました。94才のお年でいすもスッと立ち上がり、歩き方も若々しくお話もハキハキされていて私は50代ですがとても感動し勇気を頂きました。
- ◆ 良い取り組みだと思います
- ◆ 小町悦子さんのお話がうかがえた事
- ◆ 平和である事の大切なことがいつまでつづくかと
- ◆ 空襲体験者の話が良かったと思います。耳の悪い私にもはっきりと聞きとれました。お伝えください。
- ◆ 被災者代表の小町さんの体験による講話は心にしました
- ◆ 小町様の体験談が記憶に深く刻まれました。もっと父から話を聞いておけば良かったと悔やまれます
- ◆ (平和の日)にちなんで格式ある式典でした。来賓挨拶の2人方→涙を誘いました
- ◆ 被災者代表の小町さんすばらしかった
- ◆ 実際に体験された方のお話をきけてよかったとおもいました。
- ◆ 戦争体験の女性のお話は感動そのものでした。
- ◆ もう少し体験者の方のはなしや、そのはなしをきいてきた若者のはなしなどあればよい
- ◆ 当時の具体的な話をもう少し具体的に伝えてもらいたい
- ◆ どこに重きを置くかにもよるが、体験者の方の時間が多く欲しい
- ◆ 色々なお話を聞くことが出来て良かった
- ◆ この世界情勢の中、平和式典を続けることの大切さを思った
- ◆ 94才の方の体験談が良かった
- ◆ 温かくて良かった
- ◆ The personal story was nothing less than a reminder of the horror of war.
- ◆ Very touching and heartfelt words
- ◆ Moving testimony from a strong lady at 94 years old
- ◆ Suggest story of survivor to be printed and circulated to the attendants.

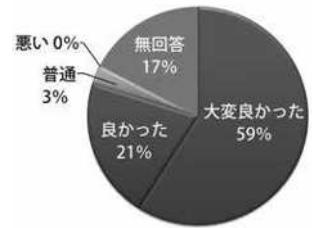


アンケート集計結果（自由意見）



2. 第二部「記念演奏」についてご感想をお聞かせください

- ◆ 演奏によって震災でなくなった方々への祈りを兼ねた
- ◆ 平和を感じました。
- ◆ 平和と素晴らしい演奏は親和性あるとも
- ◆ 選曲もよかったですし、心に響く演奏は平和のイメージと大変良く合っています。平和へのメッセージを前面に出しつつ演奏してはいかがでしょうか。
- ◆ 選曲もとてもよかった
- ◆ 心洗われました
- ◆ 厳かな気持ちになれる
- ◆ ありがとうございます
- ◆ 心いやされました
- ◆ 弦楽4重奏が基本で音楽は成り立っています。東京都響を代表する（ヴァイオリン矢部さん遠藤さん、ヴィオラ村田さん、チェロ清水さん）東京都平和の日にふさわしいmostバリエーショナルプレイヤーのコンサートですばらしかったです。
- ◆ 四重でも美しい演奏であった
- ◆ なぜだか涙が出てずっと聞いていたいと思うことがあったため
- ◆ 歌詞がない歌も聴きたかった
- ◆ Beautiful and appropriate selection of music
- ◆ Good pieces Performed, good for meditation and refreshing



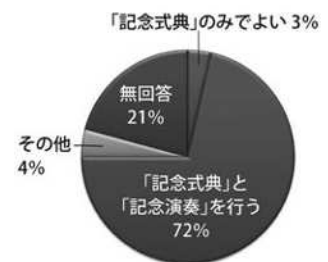
3. 今後の「東京都平和の日記念行事」についてお聞かせください

a 「記念式典」のみでよい

- ◆ 都議会の始めの時の慣習の延長ばい
- ◆ The ceremony is touchable and important.
- ◆ Well organised

b 「記念式典」と「記念演奏」を行う

- ◆ 式典のみだったら不参加
- ◆ 鎮魂のためにも必要か
- ◆ 心安らかになります 東京都交響楽団すばらしいです
- ◆ 演奏は鎮魂の意味を感じる為
- ◆ 素晴らしい演奏ありがとうございました。
- ◆ おごそかな式典の後、リラックスタイムも必要
- ◆ なごやかになる。
- ◆ 音楽は心がいやされます。





アンケート集計結果（自由意見）

- ◆ 被災者の方々が喜ばれると思う。
- ◆ 緊張がほぐれる。平和の尊さが伝わるよう。選曲もよい。
- ◆ 大変よかったと思います。曲も良し
- ◆ 鎮魂には演奏が良いと思います
- ◆ 時間配分が丁度良い
- ◆ 式典は短めにし、次世代に平和について働きかけるような取組を加えるべき。
- ◆ 音楽による式典の完成度向上
- ◆ バランスがあって良い
- ◆ たのしみがあつた方が良い
- ◆ 音楽を取り入れることにより式典に思いが余計にこもります
- ◆ 中々弦楽四重奏は聞けないから
- ◆ 日本の曲が多いと良い
- ◆ 演奏曲「ふるさと」の歌詞があつたら良かった。
- ◆ 両方開催で慰霊になると思い
- ◆ より心に残る
- ◆ 気分転換の為
- ◆ 遠路からも来てるのでお楽しみあつたほうが良い
- ◆ 和むと思います。
- ◆ 文化的な音楽演奏が平和の日にふさわしい
- ◆ さみしい気持ち憎い気持ちだけで終えたくないから
- ◆ コロナもないのでフルオケで願います。フルオケをまた聞きたい。
- ◆ 音があることで災害で亡くなった人々への思いをはせることができる
- ◆ 音楽には国境がない実感があります
- ◆ とても和やかな気持ちになります
- ◆ 演奏が合わさることにより、柔らかい空気感になるから
- ◆ 音楽により平和をいのる機会になると思う
- ◆ 遺族として、心を共有、時間を共有できることがうれしいです。
- ◆ 演奏があることでより深まるため
- ◆ 足をはこぶかいのあるイベント
- ◆ 音楽は平和のあかし
- ◆ 思い出にのこる
- ◆ お話と演奏両方とも亡くなった方も聞きたいはず
- ◆ 頭で平和を考え、音楽で平和を感じ想うことととてもいい
- ◆ 気持ちを沈めると同じ新たな平和への祈りと決意の手助けにもなる
- ◆ 心がなごみます
- ◆ 音楽っていいです。心をやわらげます
- ◆ 心がなごむので

アンケート集計結果（自由意見）



- ◆ Important in showcasing and making the memorial Peace Day
- ◆ Complimentary
- ◆ Good for remembering the victims
- ◆ Music is best to convey feelings.
- ◆ Both are memorative events to the victims and for peace.
- ◆ Very relaxing and introspective
- ◆ Amaizing event

c その他

- ◆ どちらでも。若い世代が参加しにくい時間と内容
- ◆ とてもすてきでした。
- ◆ 演奏も良いが、動画の視聴等があっても良いと思います
- ◆ 講演会をセットに行っては
- ◆ 資料展の紹介
- ◆ Beside the ceremony and the concert, there could be special presentations by the city museum and archives about the bombings.

4. その他、ご意見ご感想をお聞かせください

- ◆ 本気で不戦と平和を
- ◆ 悲惨な戦争を風化させない為に続けてください
- ◆ コートを預けるクロークがあるといいと思いました。
- ◆ 平和の日か終戦の日か敗戦の日か、戦後生まれの戦争を実感していない世代が多くなり、戦争を実感することが必要かと思います(3月10日犠牲者家族の一員として)語り継ぐでも
- ◆ この度名簿に登載して頂き式典に参加出来ました為、戦争犠牲者の亡き父も母もきっと喜んでくれていると思います有難うございました。
- ◆ 政治、国民が右傾化する中で、改めて戦争の恐ろしさを認識させる意味で、この記念行事を今後も継続・発展させる意義は深いものと思います。今後、より広くアピールして行って頂きたいと思います。
- ◆ 3月10日の空襲について母姉から聞いた話を思い出した。プールが風呂のようだったとの事。
- ◆ 初めてこの様な式典があることを知りました。もっともっと東京大空襲のことを日本人として知ってもらいたいと思います。
- ◆ とても貴重な時間ありがとうございました。
- ◆ 若い人達の参加は？少ないように思える。式典の内容とは直接関係はないが一般席の配席が詰め過ぎ。もう少しゆったりとできないものか。



アンケート集計結果（自由意見）

- ◆ 今日は慰霊堂からきましたが、雨や雪の降る寒い日でしたので、ためらいましたが、親切に係の方がして下さりありがたいです。先何回来られるか？私一人が戦死者しており、父、祖先やおじ一家など、私の現在90才の人生で1才〜8才迄が一生で一番幸せでした。どうかいつまでもこの会が続きますように。
- ◆ 戦争体験者が少なくなる中、自らが体験したことを話して下さる場も少なくなっていると思います。体験を語る方のお話をもっと聞きたいと思いました
- ◆ イスとイスの間隔がせまい。前後共、あと10cm程度でも広い方が良い。お年寄が出づらい。荷物が置けない。
- ◆ 戦争の記憶を風化させないように、体験者の証言を聞くことはとても大事だと思います。演奏も素晴らしかったです。
- ◆ 「平和」について、改めて深く見つめる機会は、内省もありますが、この様な式典や肉声も大切だと思います。細かな処まで、行き届いたご案内だと感じました。
- ◆ 広報だけでなく、若い世代と共に考えるような機会をたくさん設けていくべきではないでしょうか。
- ◆ 本日参加できて初めてであるだけに、とてもありがたいことだと思いました。都の今の豊かさは、沢山の空襲の犠牲者の存在を見えづらくしていると思うので、決して忘れないという姿勢を都が示し続けることは大切だと考えます。継続していただきたいです。母の亡くなった親族を思い、しのび、心を寄せる機会として、私には貴重な時間となりました。
- ◆ 昭和4年生まれ之父から生前東京大空襲の話をよく話されていた。今回式典に参加させていただいてとても有難かった。あらためて、"平和の大切さ"を考えさせられるこのごろであるが・・・
- ◆ メディア、新聞、TVで3月10日東京大空襲としてもっと特番を組んで欲しい。両国のビデオをそのままTVに流して欲しい。言葉はいらない。まず現実を見て感じて欲しい。「ほたるの墓」をもっと広めて欲しい。広島、長崎のことも大事だが、東京大空襲がないがしろにされている。
- ◆ 小町様のお話が心にしみました。普通に過せている事がどんなに幸せなことなのか改めて感じました。昔、犠牲になられた人達に対してとてもはずかしくて申し訳ないです。今の時代、まだ戦争をして殺しあっていることがなさけないです。
- ◆ 東京空襲目録の昭和17年4月〜昭和20年8月15日間の被害家屋と死者のリストを見て、リアルに日々大勢の人たちがいかに悲惨な状況でいたかをリアルに感じる事ができました。
- ◆ とても良い式典でした。小池都知事にもお会いできて嬉しかったです。
- ◆ 貴重な機会をいただき良い経験になりました。戦時下のお話をできる方は少なくなっていく中、若い方が興味を持つきっかけがあればと思います
- ◆ 伝える人(体験者)が少なくなる中でできる限り様々な場所で戦争の話を伝えていってほしいです。あまり知らない方とても多いと思います。このまま関心ない人が増える事がこわいです。
- ◆ 体験者が少なくなっている現在貴重なお話を聞きつくづく平和を願うばかりです。
- ◆ 出来たら来年もぜひ出席させて頂きたいと思います。
- ◆ 今回の記念行事に招待いただきありがとうございました。NHKの番組がきっかけでこの機会にめぐまれました。世界中が平和であることを願っています。
- ◆ 孫の立場として初めて参加
- ◆ 慰霊堂に名前を納めたので今日の行事を知りました。
- ◆ 第36回続いている式典大変有意義です。世界平和の実現に向けてガンバリましょう！！
- ◆ 体験者の話を増やしても良いと？

アンケート集計結果（自由意見）



- ◆初めての参加です。気持ちが引き締まる思いです。1日も早く戦争が終り世界が平和である事を望みます。とても良い経験をさせて頂きました。
- ◆戦争を知らない世代も参加していますので、改めて戦争の被害状況などを知るようなプログラムがあると良いと思います(海外の方もいらっしゃるのです)
- ◆若い人にも
- ◆別室の展示物も拝観させて頂きました。実物を見ることができて良かったです。(より一層平和を願う気持ちが強くなるので。)
- ◆お招き頂きましてありがとう。一番印象に残ったのは第一ヴァイオリニスト矢部 達哉様の優雅な奏きがそうです。二番印象に残ったのは清水 詩織さんが語った”平和”のことばです。三番印象に残ったのは被災者代表小町悦子さんの語り[生の声]で涙を誘いました。
- ◆以前のようにフルオケ、ソプラノ歌手でお願いしたい!
- ◆今まで何度か出席しているが時間の配分など進行がスムーズで平和式典にふさわしいとり組みです。
- ◆小町さんの空襲体験談は歯切れよく素晴らしいお話しでした。これからもお元気でご活躍ください。
- ◆とても心穏やかになる式典を開催して下さいましてありがとうございました。娘が東京の大学に通えましたことで、東京都平和の日記念行事を知りました。そして、娘の祖父父のおさめ名簿をさせて頂いただけましたことに感謝申し上げます。
- ◆S20.3.10未明の有様を思い起こしいい機会を頂き有がとうございました。当時6才の私は今も鮮明に記憶し今日の生命を感謝して過ごして居ります。又来年も元気で出席できます様お願いし自身も健康に心がけたいと思います。有意義なお話も有がとうございました。係の方々のご親切に対応して下さい有りがとうございます。
- ◆両国の堂へのお参りの列にてお年寄りが雪まじりの雨にぬれながら順番を待っていたのは大変そうで現地の対応に変化がありませんでしたので残念と思います。都響の演奏と共に平和を祈れて有意義と思います。また、家族としてはありがたいです。選曲演奏良かったです。アンコールしたかったです。
- ◆短い時間でしたので疲れなく、出席出来てよかった。ありがとうございました。
- ◆東京都慰霊堂から都庁への送迎バスを利用させて頂きました。本日は雪まじりの雨でしたので、利用させて頂いて大変ありがたかったです。他の遺族の方々とご一緒するのが初めてでした。ご一緒できてほんとうに良かったです。
- ◆さしつかえなければ、どこの国の方々が参加してくださっているのかを教えてくださいたいと思います。
- ◆子や孫達に語り続けていく為に東京大空襲の総括を都として実施してもらいたい。このままだと先細りしていくようで不安である。
- ◆忘れてはならないこと
- ◆3/10の下町空襲を体験した方の話があるとなお知るきっかけとして行えると考え
- ◆私は戦争体験者です。3月10日父を亡くしました。命ある限りわすれることはありません。続けてください。
- ◆3月10日は死ぬまで来ます。
- ◆東京大空襲という歴史的事実を少しでも風化させないために、休日にもこのような式典を開催するべきだと思います。
- ◆始めて参加してどう過ごしてよいものか思いつつ、時を過ごしました。知らないはずなのに知っているような、、不思議な感覚がありました。
- ◆小町様のお話、とても心打たれました。本当にこの平和な日々が長続きするよう祈りたいと思います。
- ◆席が狭い。通りづらくお年寄りが大変不便そうでした



アンケート集計結果（自由意見）

- ◆ 最後の記念行事に参加出来て良かった。
- ◆ 世界では大国による侵略戦争でナショナリズムが台頭し、日本では与党を始め、若者のゲーム感覚的な右傾化の流れになっている。今、平和は対話でしか訪れないアピールを多くのイベントを通じてもっとして欲しい。
- ◆ 日本は80年過ってもこのような式典をやってくれる国家です。小町悦子さま お話勉強になりました、美しい方歩けるだけでも素晴らしい 私も小町さまのような人間になりたい！小池百合子さま昔のように細くなって何か少女のようなオーラでした。ますますご活躍下さいませ。今日つくづく日本人でよかったと思いました。
- ◆ The construction of peace is a collective effort. Thank you for including us in this meaningful event.
- ◆ Thank you for your kind invitation from the Embassy of Panama.
- ◆ Smaller, pocket brochures
- ◆ Have to be more Live Story ?! More crying person on the stops!
- ◆ Thank you for preaching peace to the world
- ◆ Thank you for this important and well organised event.
- ◆ I would like to know which country ordered the air raids. Nobody mentions it. I will have to look it up on Wikipedia.
- ◆ The story of the survivor in the school, a lady born in 1932 witness the air raid, should be printed as a story and and to be circulated in to the attendants. It is a great story, a very rich history document. Also suggest circulate the messages by all the speakers in English for diplomatic corps.

東京都平和の日条例

平成二年七月二十日
東京都条例第九十号

東京は、今や、世界の経済社会の発展を支える大都市としての地位を占めるに至った。これは、東京の地に住み、働いてきた人々の努力の賜物である。

しかし、東京の歴史には、幾多の惨禍が刻まれている。特に、多数の都民が犠牲となった第二次世界大戦の悲惨を我々は忘れることができない。

平和は、都民すべての願いである。

東京都は、平和国家日本の首都として、世界の都市と連携し、文化交流等の推進に努め、人々の相互理解に立脚した国際秩序の形成と恒久平和の実現に貢献する責務を深く認識し、戦争の惨禍を再び繰り返さないことを誓い、ここに、東京都平和の日を定める。

(平和の日)

第一条 東京都平和の日は、三月十日とする。

(記念行事)

第二条 東京都は、東京都平和の日に、平和の意義を確認し、平和意識の高揚を図るため、記念行事を実施する。

(委任)

第三条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

Tokyo Metropolitan Peace Day Ordinance

Tokyo has now become one of the major cities to support the development of the world economy and society. This result can be attributed to its residents, who have lived and worked diligently in Tokyo. However, Tokyo recorded many disasters in its history. Of these, we will never be able to forget tragedies experienced during World War II when many Tokyo residents fell victim.

Peace is the very wish of all of Tokyo's residents.

The Metropolis of Tokyo, as the capital of peaceful nation of Japan, has decided to promote cultural exchanges in cooperation with the cities of the world. Tokyo recognizes responsibility for devoting itself to forming an international order based on mutual understanding and achieving eternal peace. Tokyo takes an oath never to repeat the horrors of war. Therefore, the Metropolis of Tokyo does hereby enact the Tokyo Metropolitan Peace Day.

(The Peace Day)

Article 1 The Tokyo Metropolitan Peace Day shall be on March 10th.

(Commemorative events)

Article 2 In order to confirm the significance of peace and to promote peace-consciousness, the Metropolis of Tokyo will carry out commemorative events on the Tokyo Metropolitan Peace Day.

(Delegation)

Article 3 Necessary matters related to the enforcement of this ordinance shall be fixed by regulation.

Supplementary provision

This ordinance shall come into force from the day of its promulgation.

Promulgated July 20, 1990

Tokyo Metropolitan Ordinance No.90

東京都民平和アピール

一九四五年三月十日、五十年前の今日、東京は大空襲によって、いたるところ焼け野原と化し、一夜にして十万人のかけがえない尊い命が失われました。

同じく五十年前、広島と長崎の原子爆弾は、人類がいまだかつて知らなかった悲劇を地上に現出させました。

いかなる哀悼の言葉も意味を失ってしまうほど非情かつ残酷なもの、それが戦争のもたらすあらゆる惨禍であり災害であります。

そして半世紀がたちました。戦争を知らない人々が、都民の多数を占める時代がきました。東京の姿は一変しました。廃墟だったまちには、活動力にみちた大都市に変貌しました。それは、日本が平和のもとにあったからこそ実現できたものでした。

世界の相互依存関係がかつてないほど緊密になり、互いの協力がますます必要とされる現在、私たちは世界全体の平和なくして、幸せで安全な暮らしを営むことはできません。

いま世界は、激動の中にあつて、大きな歴史の転換の時代を迎えています。民族や宗教の対立などに起因する悲惨な地域紛争、飢餓と貧困、難民と被災者、地球環境の破壊と悪化をはじめ、人々の糧やかで満ち足りた生活をはばむ要因が、次から次に生じています。不信と対立を克服し、信頼と協調による新たな国際秩序を模索することは、地球全体にとって緊急な課題であり続いています。国、民族、文化の違いをこえた取り組みが、今ほど求められている時はありません。

平和は、何ものにもまさつてすべての基礎をなす条件です。日本国憲法が基本理念とする恒久の平和は、私たちすべての願いであり、人類共通の目標です。

私たちは、軍縮と核兵器の廃絶を機会あることに強く訴え、戦争の惨禍を再び繰り返さないことを誓います。日々の生活において、平和を脅かす問題に、毅然として立ち向かい、忍耐よく取り組むことを決意します。

— 私たちは、次代を担う子どもたちに、戦争の悲惨さと、それを防止することの大切さを、東京大空襲の体験などとともに語り伝えます。

— 私たちは、共に地上に生きるすべての人の人権を尊重し、差別を排し、思いやりと愛情をもって、誇るに足る地域社会をつくりまします。

— 私たちは、日々のくらしを注意深く見つめ、豊かな水と緑の地球環境を守ります。

— 私たちは、地球社会の一員として、世界の人々と交流し、相互の信頼を深め、協力連帯して、人類の福祉の向上に努めます。

— 私たちは、過去の歴史をかえりみて、ともに手を携えて平和な世界をつくり、相ついでやって来る新しい世代に引き継いでゆきます。

第五回東京都平和の日記念式典にあたり、私たちは、参加者の総意としてこのアピールを採択し、誓いも新たに、平和を心から願う気持ちと決意を、全世界の人々に訴えます。

一九九五年三月十日 東京都

An Appeal for Peace by the Citizens of Tokyo

Fifty years ago today, on March 10th 1945 Tokyo was reduced to ashes and a hundred thousand precious lives were lost overnight due to a large-scale air raid.

The same year, the dropping of atomic bombs in Hiroshima and Nagasaki revealed a tragedy never previously known to human beings.

The nature of various horrors and disasters brought forth by war is so cruel that no words of condolence are enough.

Half a century has passed since then. Most of today's citizens of Tokyo don't know the war. The city of Tokyo underwent a tremendous change. Once in ruins, Tokyo is now a metropolis full of energy and spirits. This became possible only because Japan has been at peace for the past fifty years.

Today, when global interdependence is stronger than ever and cooperation increasingly necessary, we cannot seek a safe and happy life without world peace.

In the midst of turbulence, the world today is approaching an era of great change in history. Conflicts caused by antagonisms between different ethnic groups and religions, hunger and poverty, refugees and victims, deterioration and destruction of the environment—these are only a few of many factors in today's world which endanger people's calm and fulfilling lives. To overcome distrust and antagonism and to seek a new international order is an urgent agenda of the entire world. Never before was it necessary to deal with this agenda regardless of differences in nationality, ethnic background, and culture.

Peace is a basic requirement, more important than anything else. Lasting peace, the fundamental principle of the Constitution of Japan, is the wish of everyone of us and is also a common goal for all human beings.

We pledge to take every opportunity to advocate disarmament and the abolishment of nuclear weapons, and to never repeat the horrors of war. We are resolved to deal with problems which endanger peace in everyday life and to face them resolutely and patiently.

— We will tell our children, who are responsible for the next generation of the horrors of war and the importance of preventing it, along with the memories of the large-scale air raid of Tokyo.

— We will respect the human rights of all people living on the earth, fight against discrimination, and create, with much love and compassion, a community which we can be proud of.

— We will review our daily lives in order to preserve the world environment with rich water resources and greenery.

— We, as members of the global community, will develop amicable relationships with other people of the world, strengthen the mutual trust, and, with cooperation and solidarity, make efforts to enhance the well beings of mankind.

— We will reflect upon our past history and create a peaceful world for the next generation to cherish.

On the occasion of the 5th Peace Day Commemoration of Tokyo, we adopt this appeal by the consensus of all present, thereby conveying to the world the renewal of our sincere resolution to achieve peace.

March 10th, 1995